

自宅でカフェを開催して33回

百舌鳥カフェ主宰 若生 礼子

我が家でのカフェも9月で33回を迎えます。全くお誘いの活動をしなかったにも拘わらず、一人、またひとり…と導かれて集われたメンバーと共に、がん哲学の学びを続けさせて頂いております。

現在は樋野先生のテキストも2冊目となりました。がん哲学の源流は、まず、南原・新渡戸・内村・新島などのキリスト者たちの考え、そしてそこに吉田富三先生のがん細胞に対する独特の視点にある、と思います。で、最初のテキストは、冒頭に聖句が載せられている「ここにみことばの処方箋」でしたが、この本の後は、先生にご了解を頂き「いい人生は最期の5年で決まる」の各回に、それぞれに見合った聖句を記して続けています。

今回は、レギュラー4名が諸事情で欠席でしたが、集った3名が共に同い年で、しかも別の時期に別の病院で治療を受けた医師が一緒だった、というハプニングがあり、驚いたり励まされたりしました。

さらに、今回初めて来会された方ご自身が患者さんではないことを不安に感じておられましたが、その方の人生への問いかけ「生まれてきたことの意味」に関して、今回のテーマは、「何のために生まれたか、人生は何のためにあるか」で、先生の2冊のご本を通して、その答えと出会われるきっかけになりました。真摯な彼女の思いに神さまが手を差し伸べておられるような気がし、感動の瞬間でした。ステージ4のこの体でいつまで持ち堪えられるかわかりませんが体が動く限りは神さまに感謝しつつ、がん哲学の歩みを続けさせて頂きたいと願っています。いつもご配慮下さる先生に感謝しつつ。

「百舌鳥メディカル・カフェ」を訪問して

アスベスト患者と家族の会 古川 和子

初めての「メディカルカフェ」訪問でした。笑顔で待ち受けて下さったのは若生様と宮崎様で当初少し緊張していましたが、樋野先生のご本からの学びはとて解りやすく若生様のお声が心に響きました。「何のために生まれてきたのか」、「なぜ生かされているのか」…ずっと考えていた問いでした。しばし忘れていました。決して忘れてはいけない大事なことを改めて気付かせて頂き、少し目頭が熱くなったのです。

数十年前、私のお腹にいた小さな命が生後7時間での世を去りました。母体を救うために妊娠9ヶ月に入ったところで帝王切開しました。仕方なかったと医師や周囲の人は言いましたがその慰めの言葉にも私は傷つきました。さらに、朦朧とした意識の中で聞いた数回の産声は、術後の痛みと共に長い間私を苦しめました。その後新たに授かった命に感動して、失った命の存在を忘れることもありました。しかし折に触れ「せっかく生まれてきたのになぜ？」という疑問は抱いていました。そしてはっきりと自覚しました。私はその子のために「生まれてきた意味」の答えを見出さなければいけないのだと。数十年も経ってしまいましたが、まだ間に合います。我が子の7時間の命と向きあうことを心に誓いました。このような気持ちにさせて頂いた「メディカルカフェ」の教えに感謝して今後も若生様達から学ばせて頂きたいと思っております。

最後になりましたが、宮崎様の眼科の主治医が私の尊敬する医師だったことも驚きであり、深いご縁を感じています。

奈良新聞

平成30年8月20日

大和郡山で「大仏さんカフェ」、講演も

がん治療に「哲学」

精神面負担の軽減を図る

がん患者の悩みや不安を解消する目的で開かれていた「がん哲学外来」(NCC/奈良キヤンサーネットワーク)若草の会主催が19日、大和郡山市北郡山町のやまと郡山城ホールで開かれた。5周年を記念し、公開で行われ、約50人が参加した。がん哲学外来は医療情報の提供とともに、順天堂大医学部教授ががん哲学外来の意義を取り入れ、患者の精神面の負担軽減を図る取り組み。同会は患者やその家族ら約70人でつくる団体で同カフェを年4〜6回、会員を対象に開いている。この日は樋野興夫・順天堂大医学部教授が「がん哲学外来の意義について説明」。「病气もがんも単なる個性。病气であっても病人でない社会をつくらない」と



講演後は参加者がグループに分かれ、それぞれ体験談や近況などを話した。

樋野教授による講演19日 大和郡山市北郡山町のやまと郡山城ホール

徳之島で幸せに生き
しあわせに終末期を迎えるには

第1回

入場無料

日本メディカル
ヴィレッジ学会
生涯活躍のまち
共催シンポジウム in ISEN

安心して暮らせる終の棲家を目指し、医療機関と連携した医療村「メディカルヴィレッジ」を造り、移住者や地域住民、療養・治療潜在者その家族を含めた1ターン、Uターンのきっかけ作りを実現し、地域住民と移住者が協働できるための生涯活躍のまちづくりに向け、地域包括ケアシステムと連携しながら、弱者が最後まで自立して生活ができるまちづくりに関して一緒に考えませんか。

日程 2018年 11月10日(土)

時間 13:30~16:45

場所 徳之島交流ひろば ぼーらい館

定員 300人

参加をご希望の方は裏面のFAXもしくは電話で申し込みください。お問い合わせもお気軽にどうぞ。

参加・お問合せ 伊仙町役場保健福祉課 TEL.0997-86-3111(代表)
hokenhukusi04@town.isen.kagoshima.jp